

## 【中小企業振興円卓会議】令和3年度専門部会 事業計画書

活動名	まつやま みつけふえ 「松山の暮らしやすさ」+「松山の働きやすい企業」を見つけ+カフェ	
部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会	
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟	
代表団体名	公益社団法人 松山法人会	
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」および「調査・検証活動」	
活動 詳細	現状・課題	新型コロナウイルス感染症の拡大は、中小零細事業者の経営基盤に大きな影響を与え、求人活動を消極的にならざるおえない状況があった。一方、現下の状況が終息し、経済が回復しても人手不足は解消されないことを中小零細事業者は認識している。就職を機とした市内流出を食い止め、人材を確保し、維持するためには、更なる働き方改革と積極的で効果的な求人プロモーションが求められている。
	活動内容	1. 学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める優良企業情報を学生に提供 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の活用  (1) 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」：一定の基準を満たした「働きやすい職場づくり」を進める優良企業（ワークライフバランス優良企業）のみが参加できるグループ（令和元年度創設） (2) えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会に協力依頼し、各大学短大からの要請依頼を受ける。 令和元年度まで実施した「みつけふえ」プログラムの活用を推進する。 * 想定される大学からの要請：「キャリア教育で先輩社員を呼びたい」「松山の企業情報をまとめたので企業情報が欲しい」「授業の中で会社訪問したい」など (3) 大学側からの依頼に基づきBank登録企業へ依頼、要請に応じ講師等を派遣する。  2. 働きやすい職場づくり企業への求人プロモーション支援（専門家派遣事業）と動画制作  (1) 働き方・休み方改革や社内風土づくり、女性の働きやすい職場づくり等を積極的に取組んできた「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」登録企業に対して、専門家（社会保険労務士等）を派遣し、今後、労働市場で勝ち残るための求人プロモーション支援を行なう。 ／ 10事業所程度× 2回程度 (2) 働きやすい職場づくり支援（制度づくり）に関しては、愛媛労働局、愛媛県や各支援機関の専門家派遣事業等と連携する。 (3) 専門家のアドバイスを受け作成した動画は、各大学短大へ提供し、キャリア教育授業等で活用いただく。
	事業期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
	事業費	1,455,313
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	1. 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の登録企業数 50社 2. 求人プロモーション支援事業 ⇒社会保険労務士等の派遣 10 事業所程度×2回程度	

## 【中小企業振興円卓会議】令和3年度専門部会 収支予算書

## 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
松山市補助金	1,450,000 円	
法人会負担	5,313 円	
	円	
	円	
合 計	1,455,313 円	

## 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
人件費	516,600 円	日給7,000円×246日×1名×0.3（業務按分割合）
人件費	85,000 円	法定福利費×1名×0.3（業務按分割合） （雇用保険、労災保険、石綿救済法に基づく一般拠出（概算））
人件費	7,200 円	通勤手当 2,000円×12ヶ月×1名×0.3（業務按分割合）
報償費	100,000 円	専門家派遣 @5,000×10事業所程度×2回程度
需用費	400,000 円	動画制作及びプロデュース費用（企業PR動画 50分 10社×5分）
需用費	60,000 円	消耗品@5,000*12ヶ月
使用料及び賃借料	94,212 円	パソコンリース代（@16,000*12ヶ月）×0.3（業務按分割合） 事務所費@8,920*12ヶ月（実績算出）×0.3（業務按分割合） 光熱費@15,000*1名（実績算出）×0.3（業務按分割合）
役務費	60,000 円	郵便料、電話料（@5,000*12ヶ月）
消費税	132,301 円	
合 計	1,455,313 円	

## 【中小企業振興円卓会議】令和3年度専門部会 事業計画書

活動名	働き方改革・職場環境改善セミナー事業
部会名	人育ち応援部会
部会長・副部会長名	部会長：中 周作
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
活動テーマ	ええ人育て
活動項目	「条例の推進活動」
活動詳細	<p>現状・課題</p> <p>コロナ禍の中で中小企業をめぐる経営環境は厳しいものがあり、働き方改革による中小企業の生産性向上も含めた改革が求められている。さらに、帝国データバンクの「働き方改革に対する企業の意識調査」によると、働き方改革に取り組んでいる企業規模別では「大企業」が75.7%で全体の60.4%を大きく上回る一方で、「中小企業」は56.7%、「小規模企業」は41.6%と全国的に未整備の状況がある。愛媛県内においても中小企業が整備すべき課題への啓発が必要であり、中小企業家同友会としては『働く環境づくりのガイドライン』が発刊され、経営者自身が基礎的の力量として労務管理を学ぶことが全国的に方針化しており、今後の働き方改革の対応として職場環境改善・啓発セミナー（継続）事業に取り組む。</p>
	<p>活動内容</p> <p>＜働き方改革・職場環境改善セミナー（継続）＞          特定非営利活動法人ワークライフ・コラボと連携して、中小企業の大きな課題である求職者に選ばれるような魅力ある企業づくりに取り組む。          開催時期：年4回から可能であれば最大6回程度で開催予定。早ければ4月ごろからの開始を見込む。          開催場所：主に公共施設を利用。          参加対象：県内中小企業経営者、人事担当者、一般参加も可。          企画内容：中小企業経営者の職場環境改善の経営実践報告、自社への活用に向けて参加者のグループ討論を主とする。昨年度に同セミナーの参加者のその後の実践事例、全国の先進事例の登壇者も予定する。          可能であれば、先進企業の視察も行うことを検討・具体化する。（新規）</p>
	<p>事業期間</p> <p style="text-align: center;">令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日</p>
	<p>事業費</p> <p style="text-align: center;">1,000,000円</p>
<p>活動効果          （想定される調査・検証結果等）          ※開催回数・参加人数等の具体的な数値目標の設定をお願いします。</p>	<p>＜職場環境改善・啓発セミナー（継続）＞          ・中小企業自身の職場環境整備を進め、社員にとって働きがいとやりがいのある魅力的な職場づくりにつなげる。          開催回数：4～6回、参加50社、参加人数のべ130～200名</p>

## 【中小企業振興円卓会議】令和3年度専門部会 収支予算書

## 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	1,000,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	1,000,000 円	

## 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
人件費	100,000 円	事務担当者の人件費
事務経費	20,000 円	事務に係る郵送費、消耗品費、会合諸経費等
報償費	240,000 円	セミナー講師謝金（講師：@30,000円×6名） セミナー講師交通費（講師：@30,000円×2名）
会場費	50,000 円	会場費（プロジェクター設備、冷暖房費等含む）
通信費	60,000 円	チラシ等の案内郵送費、zoom契約料
印刷製本費	50,000 円	チラシ・資料印刷費、講師資料テキスト代、報告集制作・印刷費
旅費交通費	30,000 円	打ち合わせ会合、講師の企業見学のための交通費等の実費
委託費	450,000 円	セミナー委託費（人件費等）450,000円
	円	
合 計	1,000,000 円	

## 【中小企業振興円卓会議】令和3年度専門部会 事業計画書

活動名	転居女性の市内のワークシェアリング事業	
部会名	人育ち応援部会	
部会長・副部会長名	部会長：中 周作	
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会	
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」	
活動詳細	現状・課題	<p>コロナ禍に伴い中小企業をめぐる経営環境は厳しいものがあり、愛媛同友会景況調査では昨年引き続き経営上の課題・力点に「人手不足」の課題が残っている。こうした中、松山市内においては配偶者の転勤で市内在住の女性等には一定のスキルがありつつも、子どもの預け先等がないために就労に至っていない例が多い。こうした、いままでの延長線上にない人材確保に着目したとり組みが必要である。</p> <p>昨年度はパイロット的に事業を展開させてきたが、引き続き取り組みとしてはより本格的に広げていく計画である。</p>
	活動内容	<p>&lt;転居女性の市内のワークシェアリング事業（継続）&gt;</p> <p>(1) 市内中小企業によるママネットワーク内でのニーズヒアリング（委託先が実施） 市内中小企業（エルパティオ(株)）を委託先として連携して、その既存のママネットワーク内で、都合の良い時間に仕事をしたいという女性のスキルを把握し、請け負うことのできる業務について情報を共有する。女性のスキルは総務・経理、広報、営業、マーケティング、保育、ITなど多岐にわたる。 開催時期：4月～ 開催場所：えひめママハウス（松山市北土居3丁目2-25） 対象：えひめママハウス内でのママネットワーク登録の女性のうち、松山市外から転入してきた無業女性</p> <p>(2) 愛媛県中小企業家同友会の会員企業からのアウトソーシング 人手不足の市内企業から、(1)の女性が請け負うことが出来る業務をアウトソーシングする。企業側はアウトソーシングできるように業務を細分化して委託業務を切り出すなどを通じて、自社の整備・業務改善・見直しとしても位置づける。 開催時期：4、5月ごろから 開催場所：愛媛県中小企業家同友会 松山支部 対象：松山市内の人手不足に悩む会員企業</p> <p>(3) えひめママハウス内でのワークシェアリング（委託先 エルパティオ(株) が実施） (2)の請負業務を(1)の女性らが完了。えひめママハウス内での一時保育所を利用、もしくはママ同士で子どもを見るなど、子連れでも業務ができる環境で時間に縛られない働き方で実施。 開催時期：4月～ 開催場所：えひめママハウス 対象：えひめママハウス内でのママネットワーク登録の女性のうち、松山市外から転入してきた無業女性</p>
	事業期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
	事業費	1,300,000円
	活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の具体的な数値目標の設定をお願いします。	<p>&lt;転居女性の市内のワークシェアリング事業&gt;</p> <p>・ニーズヒアリング、市場調査は中小企業にとって費用面等で難しく弱点となっているが、本事業の活用によりコロナ禍の中においても新事業・商品開発へつなげることが期待できる。10社以上のマッチングを目標とする。</p> <p>・転居女性のスキルを活用することで、人材不足を解決すること、また、中小企業の弱点でもある広報部門、IT活用とその運用などで自社整備できることを見込む。数値目標は10社以上のマッチングを目標とする。</p>

## 【中小企業振興円卓会議】令和3年度専門部会 収支予算書

## 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	1,300,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	1,300,000 円	

## 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
委託費	1,100,000 円	転居女性ワークシェアリング事業委託費 ・人件費・交通費・コンサルティング等の諸経費：1,000,000円
印刷製本費	30,000 円	チラシ制作・印刷等
消耗品費	20,000 円	印刷用紙等
通信費	50,000 円	チラシ送付、資料郵送費等
使用料及び賃借料	40,000 円	会場使用料 10,000円×4回
人件費	60,000 円	事務局員人件費
	円	
	円	
	円	
合 計	1,300,000 円	

## 【中小企業振興円卓会議】令和3年度専門部会 事業計画書

活動名	まつやま働き方改革推進会議	
部会名	変える勇気&変わる勇気プロジェクト	
部会長・副部会長名	部会長 堀田 真奈	
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ	
構成メンバー		
活動テーマ	ええ会社づくり	
活動項目	「条例の推進活動」	
活動詳細	現状・課題	主体的な働き方改革の活動の場として「まつやまワークワク部」を設立して3年が経過するが、このコミュニティ活動を通じて、自社を変えたいと志ざす部員同士がお互いに刺激を受けながら自発的に行動する動きが見られる。このような社外での人間関係の築きが、働き方改革への挑戦を後押しするきっかけとなっており、コミュニティ存続の必要性を感じている。また、まだ働き方改革へのハードルは高いと感じている企業は多いため、実際に働き方改革に取り組む「チャレンジ企業」を作り、業務の洗い出しや働き方改革のノウハウの伝授など一定期間の伴走型支援を行い、その内容を市内企業に広く周知し、働き方改革への意識啓発を強化したいと考えている。
	活動内容	<p>以下の1～3の実施により、市内の働き方改革に取り組む企業に伴走型支援を行い、その取り組み内容を市内企業に広く発信し、意識啓発につなげるもの。別添PPTあり</p> <p>1. 「チャレンジ企業」《ロールモデル作り》 サイボウズ松山オフィスとワークライフ・コラボのコラボレーションで働き方改革に取り組むチャレンジ企業を作り、問題解決メソッドとモチベーション創造メソッドのレクチャーを行う。講師を派遣し、自社の課題を見つけ、働き方改革に取り組む方法を学び、モデル企業を作ることで他の企業にも働き方改革の動きを広げることが期待できる。</p> <p>2. 「まつやまワークワク部」《コミュニティ形成》 昨年度に引き続き、働き方改革に関心のある・情報が欲しい方々が、情報を得る場所として交流できるコミュニティを継続する。情報発信やイベントの開催などを予定している。</p> <p>3. 働き方改革の推進と啓発《情報発信》 ホームページに企業の働き方改革について発信することで、市内企業の働き方改革に対する意識啓発を行う。 また、2の「ワークワク部」への参加を促す。</p>
	事業期間	令和3年 4月 1日 ~ 令和4年 3月 31日
	事業費	1,300,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<p>1 チャレンジ企業実施数 2～3社程度</p> <p>2 部員交流の場 4か月に1回程度 (ただし、部員からの主体的な交流はのぞく)</p> <p>3 情報発信回数 20回程度 (月2回程度)</p> <p>他 働き方ロールモデル (ワクワクサポーター) 目標20名</p>	

## 【中小企業振興円卓会議】令和3年度専門部会 収支予算書

## 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	1,300,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
ワークワク部費余り	389,750 円	
	円	
	円	
合 計	1,689,750 円	

## 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
人件費	1,000,000 円	事務担当者の人件費
旅費交通費	20,000 円	スタッフ移動費
報償費	250,000 円	10万円×2回×1社 = 20万円 5万円×1回×1社 = 5万円 (講師謝金・講師交通費)
運営管理費	323,750 円	ホームページの修正と運営 200,000円 kintoneの年間利用料 10,890円 フォームブリッジ利用料 112,860円
通信費	36,000 円	3,000円×12ヶ月
使用料及び賃借料	60,000 円	PCLレンタル代5,000円×12ヶ月
	円	
合 計	1,689,750 円	



## 【中小企業振興円卓会議】令和3年度専門部会 事業計画書

活動名	DX等推進事業	
部会名	松山DX勉強会	
部会長・副部会長名	戸嶋 祐介	
代表団体名	松山商工会議所	
構成メンバー	松山商工会議所、愛媛デジタルソリューション協会	
活動テーマ	ええ会社づくり	
活動項目	「条例の推進活動」および「調査・検証活動」	
活動詳細	現状・課題	企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセスを変革し、競争上の優位性を確立する動き（＝デジタルトランスフォーメーション＝DX）が注目されている。新型コロナウイルス感染症が経済活動に大きな影響を及ぼすなか、ますますその重要性が認識されている。DXにはRPAの導入のような比較的取り組みやすい内容も含まれるが、地元企業にとって「デジタル化」へのハードルはまだ高く、必要だと分かっているにもかかわらずどう取り組んだらよいか分からないという意見が多い。そこで、市内企業にDX推進の動きを普及するため、まずはDXについて知る機会を設け、自由に意見を交換するコミュニティを作り、成功事例を共有できるような環境が必要である。
	活動内容	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「愛媛デジタルソリューション協会」を委託先として連携し、デジタル化に興味のある市内企業（主に従業員50名以下の中小企業）を対象に、DX勉強会を開催する。DX勉強会では、専門知識を有する講師を招致し、DXとは何か、デジタル化に対応した経営戦略等について学ぶほか、DXを具体的にイメージできるよう市内企業の導入事例や課題解決事例を紹介し、自社でのDXについての検討やプランの作成等につなげる。</li> <li>・また、参加企業同士の自由に情報を共有できるコミュニティづくりや、サービス提供者側に参加してもらうことで、マッチングにより、実際の実行を後押ししたいと考える。</li> </ul> <p>【DX勉強会の詳細（予定）】</p> <p>▶ 1～5回目 インプット</p> <p>1回目：DXとは？全体像（DXの必要性、すすめていくためにどのような問題課題があるか）</p> <p>2回目：商品・サービスの変革につながるDX （売上につながる、自社のサービスをデジタルでどのように変革できるか考える）</p> <p>3回目：内部の効率を上げるDX（RPA、社内コミュニケーションなど）</p> <p>4回目：2回目と同じ方向で講師や事例発表を変えて実施</p> <p>5回目：3回目と同じ方向で講師や事例発表を変えて実施</p> <p>1～5回の勉強会を通じて、自社でのDXについての検討、プラン作成を促す 〈1回あたりの勉強会のスケジュール〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による講義(60分)、市内の導入事例紹介(30分×2)、ワークや交流(60分)</li> </ul> <p>▶ 6回目 発表</p> <p>1～5回目のインプットや自社での検討を踏まえて、プラン発表</p> <p>【今後の展望】</p> <p>第1フェーズ：勉強会を通じてDXについて知る、自社を分析しプランを検討する</p> <p>第2フェーズ：勉強会で作られたコミュニティでサービス提供者とのマッチング</p> <p>第3フェーズ：実際に実行に至った企業の事例を広め、地域のDX活用の機運をさらに醸成する</p>
	事業期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
	事業費	1,000,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会開催回数 年に5～6回</li> <li>・プラン作成企業 4社</li> </ul>	

## 【中小企業振興円卓会議】令和3年度専門部会 収支予算書

## 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	1,000,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	1,000,000 円	

## 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
委託費	1,000,000 円	DX等推進事業業務委託費
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	1,000,000 円	